

2026年3月6日

報道関係各位

GMOインターネット株式会社

GMOインターネットの『ConoHa VPS byGMO』 「Terraform ConoHa VPS Provider」を提供開始 ～国内VPS初！コードでサーバーなどの基盤環境を構築可能に～

GMOインターネットグループのGMOインターネット株式会社(代表取締役 社長執行役員:伊藤 正 以下、GMOインターネット)が提供する『ConoHa VPS byGMO』(URL: <https://vps.conoha.jp/>)は、2026年3月5日(木)より、サーバーやネットワークなどの基盤環境(インフラ)構築ツール「Terraform」(テラフォーム)のプロバイダー^(※1)「Terraform ConoHa VPS Provider」を、国内VPSサービスとして初めて^(※2)提供開始しました。

これにより、『ConoHa VPS byGMO』と「Terraform」の連携が可能となり、管理画面から手作業で行っていたサーバー作成やネットワーク設定を、コード(設定ファイル)実行で一括して自動構築できるようになります。

例えば、複数台のサーバーを同一構成で一度に立ち上げ、テスト環境と本番環境を再現することが容易になるため、作業時間の短縮や設定ミスの防止につながります。

GMOインターネットは、インフラ管理にかかる負担を軽減し、エンジニアがより付加価値の高い開発業務に注力できる環境の実現に貢献してまいります。



(※1) プロバイダーは、「Terraform」とクラウドサービスをつなぐ接続機能の役割を担い、コードで記述した内容に基づいてサーバーの作成や設定変更などを実行します。

(※2) 2026/3/6 現在。自社調べ。

【「Terraform」と「Terraform ConoHa VPS Provider」について】

近年、クラウド活用の拡大に伴い、サーバーやネットワークなどの基盤環境をコードで定義・管理する手法 IaC (Infrastructure as Code) の導入が進んでいます。

『ConoHa VPS byGMO』は、市場動向と開発者ニーズを背景に、構成管理ツール「Terraform」との連携を実現するプロバイダー「Terraform ConoHa VPS Provider」の提供を開始しました。

主なメリットは以下のとおりです。

① 構築の自動化によるリードタイム短縮

従来は管理画面上で行っていたサーバーの作成や設定作業を自動化し、構築にかかる時間を短縮します。

② 環境再現性の向上と安定運用の実現

構成内容をコードとして保存・再利用できるため、開発・検証・本番など複数の環境を同一構成で再現でき、よく使う構成をモジュールとして再利用可能です。

これにより、環境間の差異を抑制し、安定した運用を支援します。

また、既に他社サーバーで「Terraform」を利用している場合でも、同一コードを用いて『ConoHa VPS byGMO』上にサーバーを構築することができます。

複数のクラウド環境に同じ構成を展開することで障害発生時の影響を抑える体制づくりにもつながります。

③ 変更管理の高度化と属人化の抑制

変更内容を事前に確認・反映できる仕組みにより、設定ミスの抑制につながります。

構成情報は Git などで管理できるため、チーム内での共有やレビューも容易になります。

また、構成情報の標準化・可視化により、属人化の抑制や運用負荷の軽減を実現します。

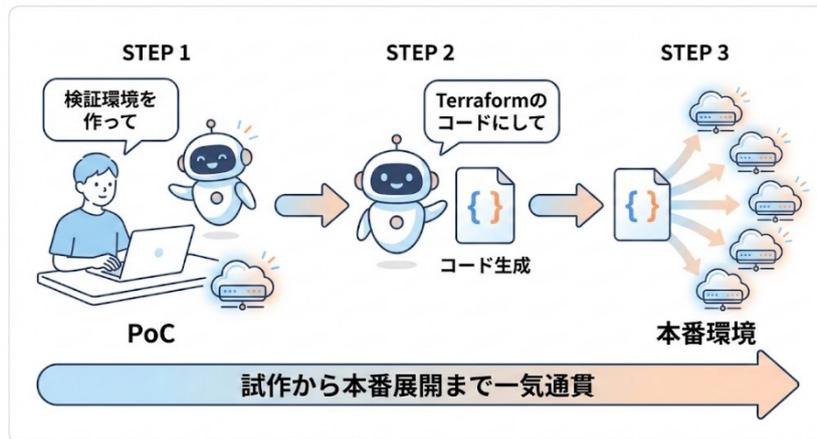
【ユースケース】

『ConoHa VPS byGMO』の MCP サーバー (URL : <https://vps.conoha.jp/function/mcp/>) と組み合わせることで、サーバー環境の「概念実証」から「本番構築」までスムーズにつなげることが可能になります。

例えば、米 Anthropic 社が提供する生成 AI 「Claude」の公式デスクトップアプリに「Web サーバーとデータベースを備えた検証環境を作って」と自然言語で指示するだけで、AI が『ConoHa VPS byGMO』の API を通じてサーバーを自動構築します。

検証が完了し本番運用に移行する際には、「今の構成を Terraform のコードにして」と指示すれば、AI が設定内容をコードとして出力、そのコードを「Terraform ConoHa VPS Provider」で実行することで、同じ環境を何度でも正確に再現できます。

検証時から本番展開までを、一貫した流れで効率化できるのが大きな特長です。



【『ConoHa VPS byGMO』について】 (URL : <https://vps.conoha.jp/>)

「ConoHa VPS byGMO」は、累計 85 万アカウントを超える^(※3)『ConoHa byGMO』が提供する、GMO インターネットの VPS サービスです。

■ 『ConoHa VPS byGMO』の特長

① 高性能なサーバー環境

国内データセンターに最新 CPU と超高速な NVMe SSD^(※4)を採用。

② 信頼性の高い設計

- ・分散型ストレージ構成^(※5)を採用。
- ・自動フェイルオーバー機能 (HA 機能)^(※6)を標準で搭載し、可用性の高い環境を実現。
- ・DDoS 対策を強化^(※7)。

③ コストパフォーマンスに優れた料金体系

- ・初期費用無料。
- ・データ転送量による追加課金なし。
- ・1 時間単位で利用可能な「時間課金タイプ」と、時間課金よりもお得な 1 か月以上の長期ご利用の「まとめトク」の 2 つの料金形態。
- ・「まとめトク」をご利用の方は、SSL 国内シェア No.1 の GMO グローバルサイン社が発行する SSL サーバー証明書「アルファ SSL」を無料提供^(※8)。

④ サーバー運用の完全委託も可能

株式会社ビヨンドと連携しサーバーの移設や構築、保守など、サーバー運用をすべて委託可能な「ConoHa VPS byGMO マネージドパック」を提供^(※9)。

(※3) 2026/3/6 現在。

(※4) NVMe SSD は、データの読み書き速度が非常に速いストレージデバイスです。SSD に最適化された通信プロトコル「NVMe」を採用しているため、従来の SATA SSD に比べ、低遅延・高スループットなアクセスが可能です。

(※5) 複数のノードにデータを分散して保存することで、万が一ハードウェア障害が発生してもデータの損失を防ぐものです。

(※6) 万が一、仮想サーバーを収容しているホストサーバーが物理障害を起こした場合でも、別のホストサーバーへ自動的に移行し、同様の環境を構築いたします。これにより、障害発生時の影響を最小限に抑え、安定したサーバー運用を実現するものです。

(※7) (<https://vps.conoha.jp/news/?&ap=2015053759>) 参照。

(※8) (<https://vps.conoha.jp/function/ssl/alpha-ssl/>) 参照。

(※9) (<https://vps.conoha.jp/for-corporations/beyond/>) 参照。

【「ConoHa byGMO」について】 (URL : <https://www.conoha.jp/>)

「ConoHa byGMO」は、国内ホスティングシェア No.1^(※10) を誇る GMO インターネットグループのホスティングサービスで、ブログや HP 作成に最適な国内最速^(※11) レンタルサーバー『ConoHa WING』をはじめ、よりサーバーを自由にカスタマイズ・構築することが可能な『ConoHa VPS byGMO』、Windows OS をご利用される方向けの『ConoHa for Windows Server』、ゲームテンプレートが無料で使えるゲームユーザー向けの『ConoHa for GAME』、ブラウザだけで本格的な AI 画像生成を楽しめる『ConoHa AI Canvas』など、お客様のご利用目的に応じて最適なサービスをお選びいただけます。初期費用無料で"簡単"、"使いやすく"を徹底的に追求したサービスとなっており、サーバーを初めてご利用いただく方から個人事業主、法人まで幅広くご利用いただいております。



(※10) 業界のシェアは ipinfo.io をもとに算出しております。ipinfo.io は、IDB LLC 社が運営する IP アドレスに紐づいた地理情報などを確認できるウェブサイトです。

(※11) 2025/11/1 現在。自社調べ。本国内シェア 90%以上を占めたトップ 10 サービスにおいて、各サービス最下位プランのサーバー処理速度を、負荷テストツール「Apache Bench」「h2load」で 5 回計測した平均値を比較。国内シェアは、Webhosting.info および DomainTools をもとに算出

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社
広報担当 福井
TEL : 03-5728-7900
お問い合わせ :
<https://internet.gmo/contact/press/>

- GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部 PR チーム 小犬丸
TEL : 03-5456-2695
お問い合わせ :
<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社
ConoHa 事業部 松井
お問い合わせ : info@conoha.jp

【GMO インターネット株式会社】(URL : <https://internet.gmo/>)

会社名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売（レジストラ）事業 クラウド・レンタルサーバー（ホスティング）事業 インターネット接続（プロバイダー）事業 ■インターネット広告・メディア事業
資本金	5億円

【GMOインターネットグループ株式会社】（URL：<https://group.gmo/>）

会社名	GMOインターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード：9449）
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	<p>持株会社（グループ経営機能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資本金	50億円

Copyright (C) 2026 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.